

八鹿中心部を考える視点

第3回八鹿ミニフォーラム

2009年3月18日 八鹿ふれあい倶楽部

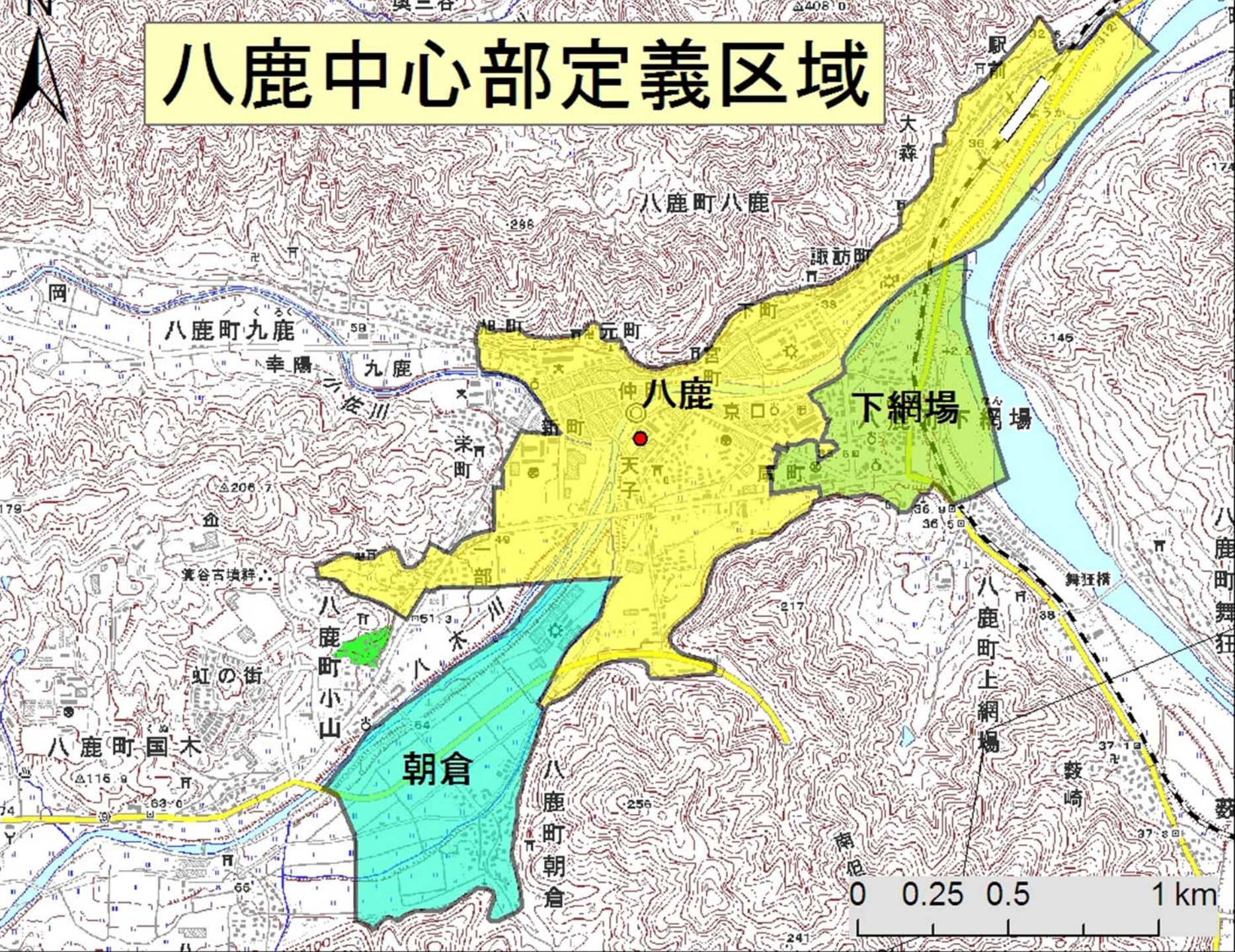
神戸大学地域連携事業

「まちづくりに新発想をもたらす小地域統計分析の試み」

今回のご報告内容

- 統計からみた「八鹿中心部」の現状と将来
←地域に暮らし続けるために
- より広い地域からみた「八鹿中心部」の役割
←地域経済を維持するために
 1. 養父市のなかの八鹿町
 2. 但馬のなかの八鹿町、養父市
- まちづくりの方向性を考える

八鹿中心部定義区域



私たちが考える「八鹿中心部」とは

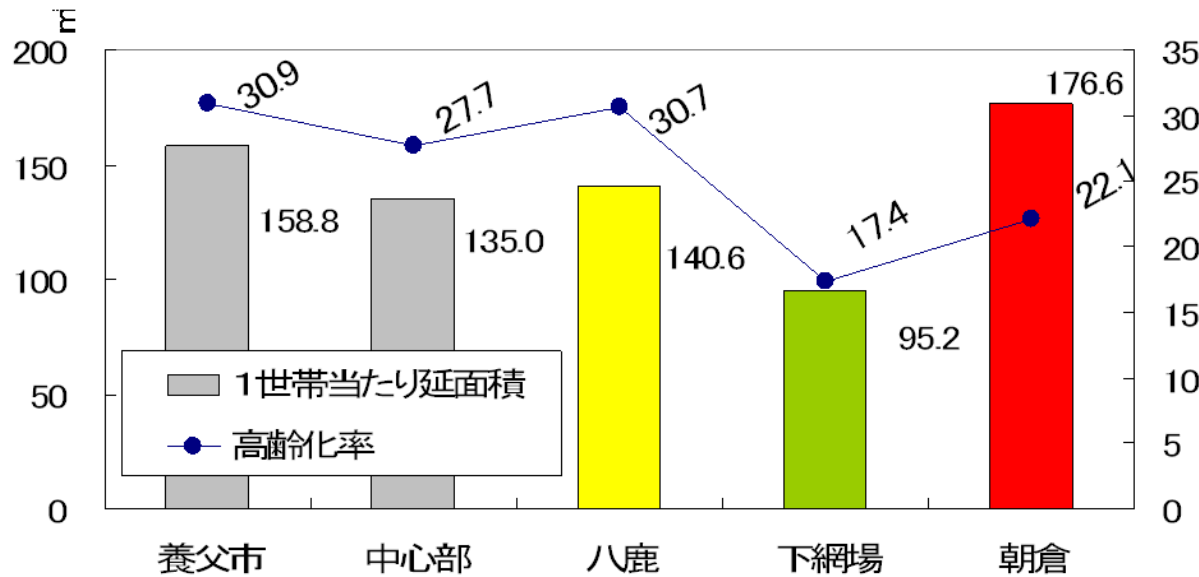
- 旧八鹿町の「八鹿」「下網場」「朝倉」の3地区
- ○人口：3,541人、1,270世帯
(旧八鹿町の30.9%、養父市全体の12.5%の人口が集中)
- ○面積：約150ha

表1: 養父市八鹿町の中心部の人口

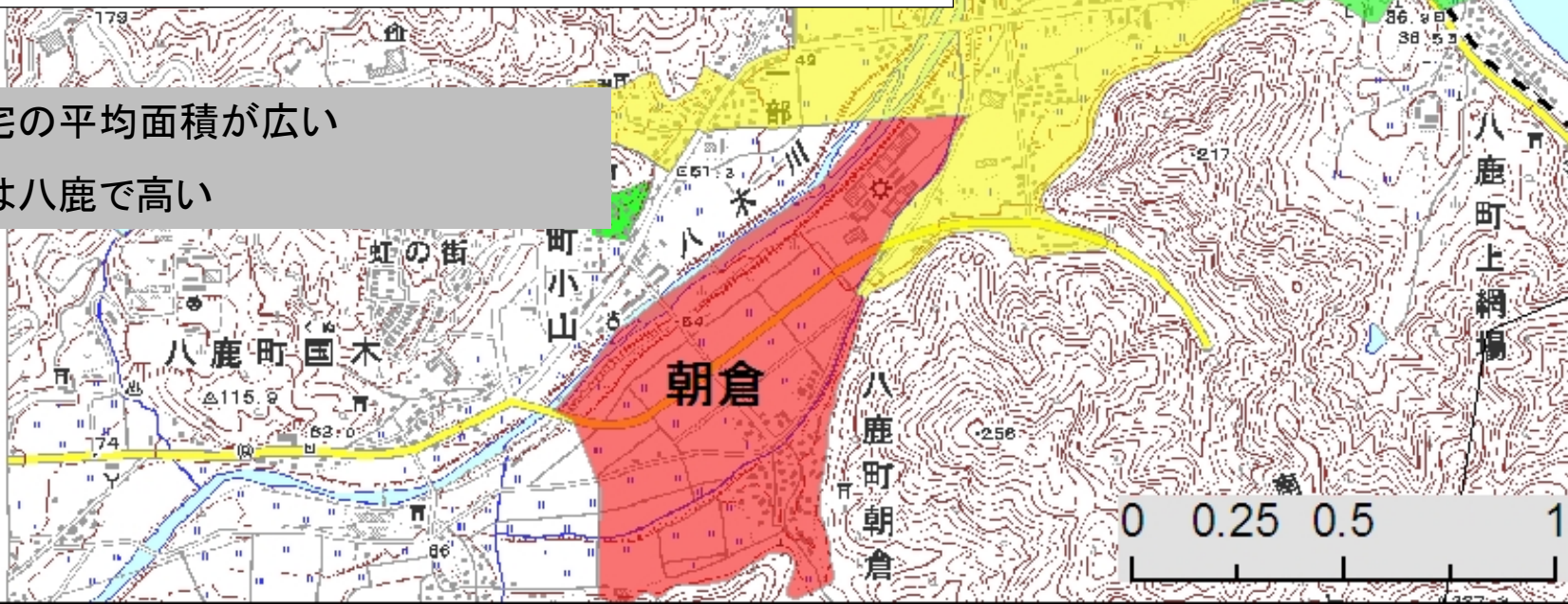
	人口(人)	高齢化率(%)	世帯数	単身世帯	単身世帯の割合(%)
養父市	28306	30.9	9212	1674	18.2
八鹿中心部	3541	27.7	1270	316	24.9
八鹿	2646	30.7	964	219	22.7
下網場	614	17.4	224	90	40.2
朝倉	281	22.1	82	7	8.5

出典：国勢調査2005年

中心部の住宅

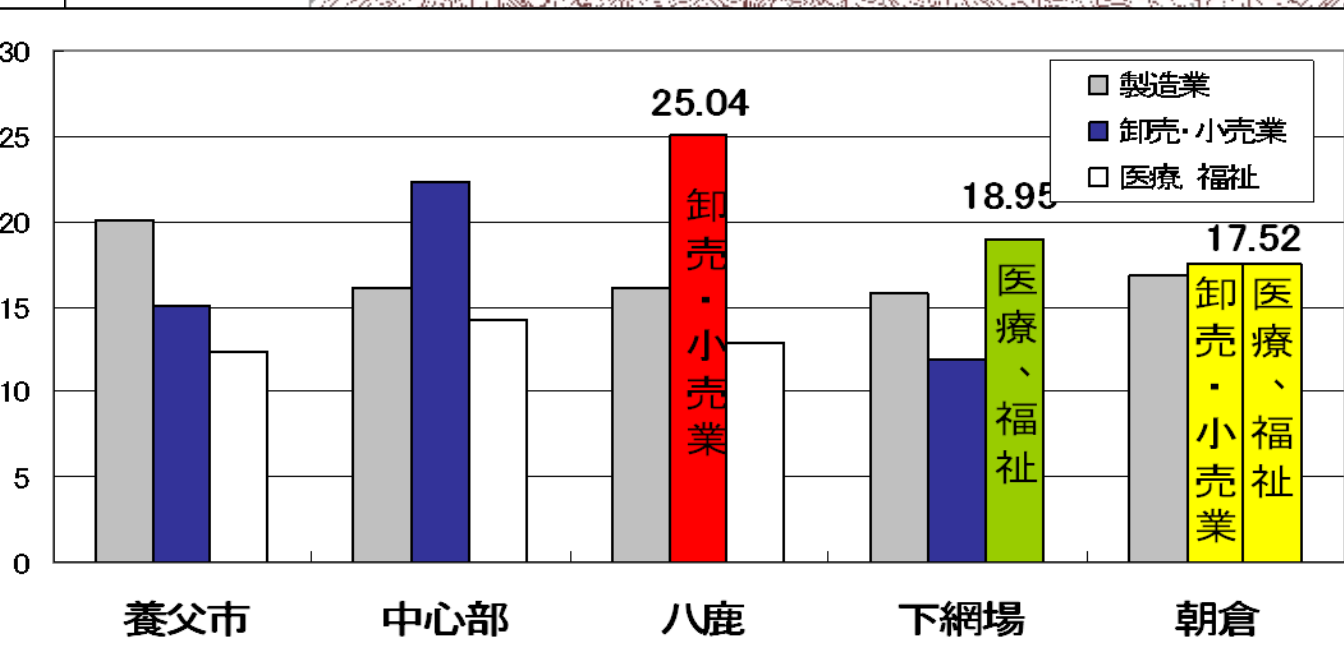


- ・朝倉は住宅の平均面積が広い
- ・高齢化率は八鹿で高い

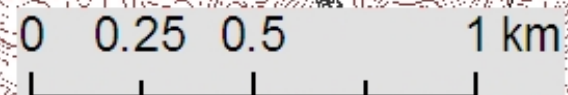
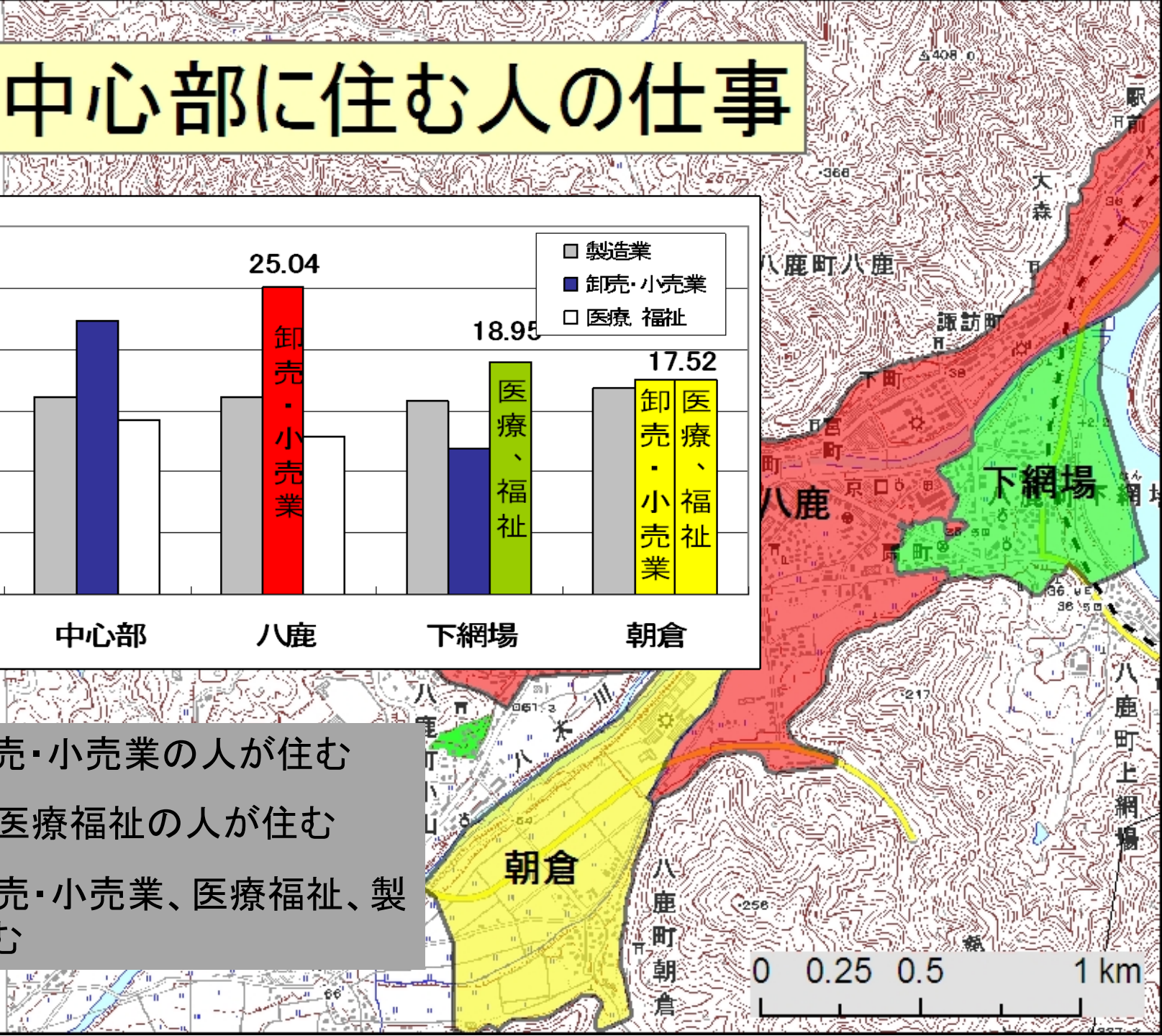




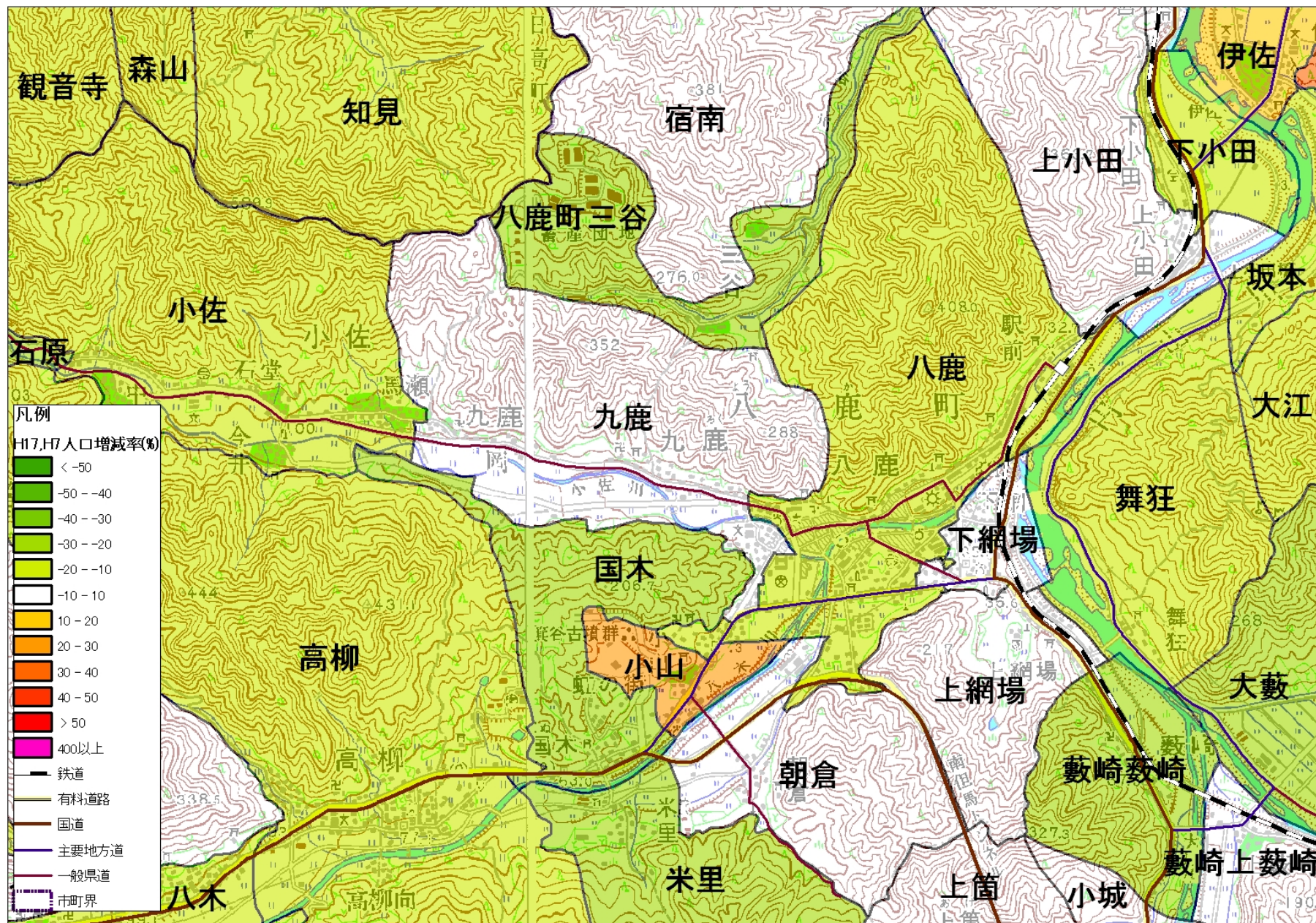
中心部に住む人の仕事



- ・八鹿は、卸売・小売業の人が住む
- ・下網場は、医療福祉の人が住む
- ・朝倉は、卸売・小売業、医療福祉、製造の人が住む



鳥の目で見た「八鹿中心部」

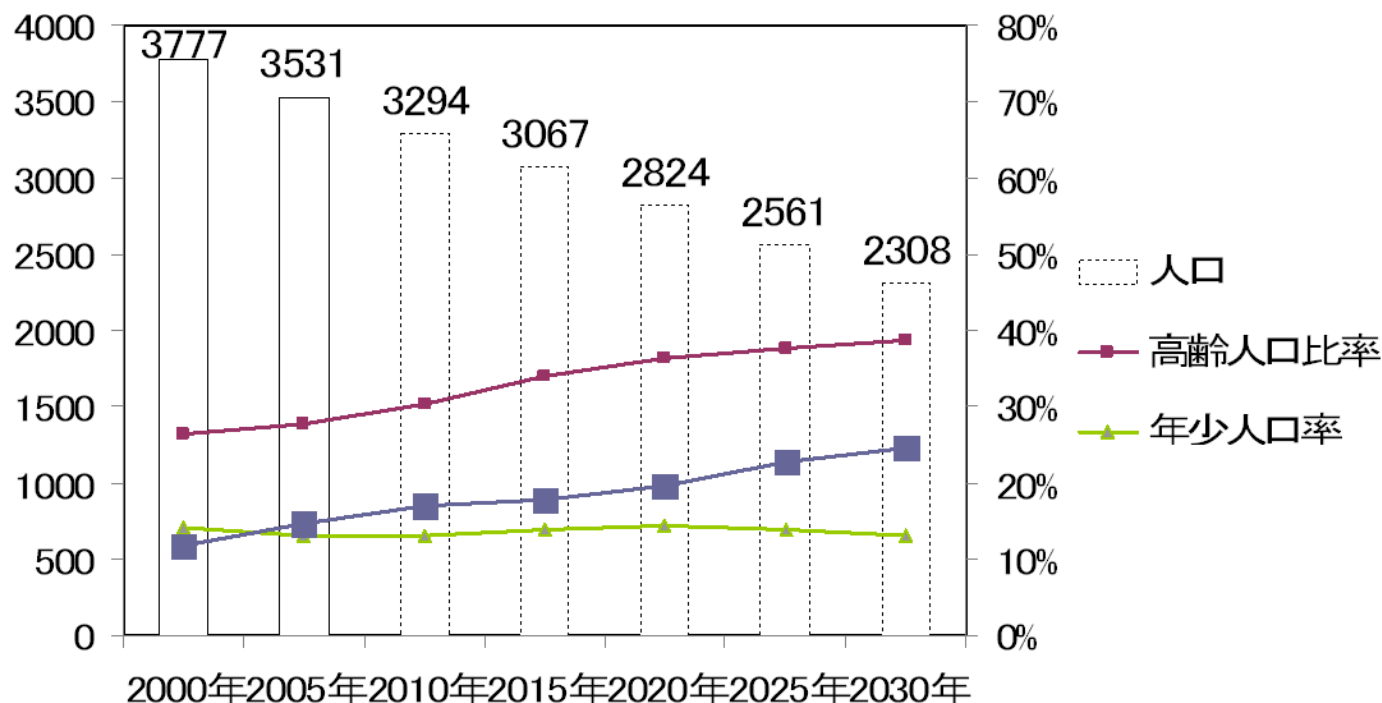


八鹿中心部の人口（現状と将来）

	人口(人)	高齢化率(%)	世帯数	単身世帯	単身世帯の割合(%)
養父市	28306	30.9	9212	1674	18.2
八鹿中心部	3541	27.7	1270	316	24.9
八鹿	2646	30.7	964	219	22.7
下網場	614	17.4	224	90	40.2
朝倉	281	22.1	82	7	8.5

八鹿町中心部の人口推移(2000年～2030年)

出典：国勢調査2005年

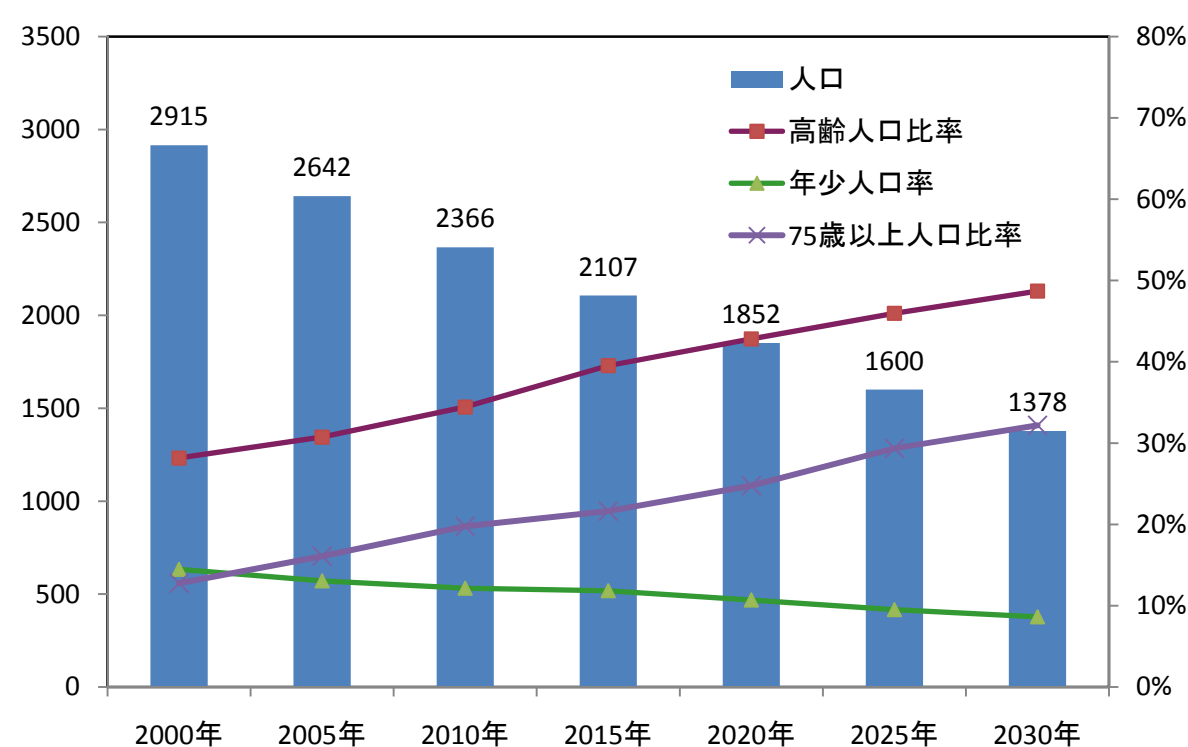


中心部の高齢化率は、養父市全体よりも低い

中心部内部で、高齢化率が大きく異なる

八鹿地区のみで計算した将来人口

人口推移(2000年～2030年)

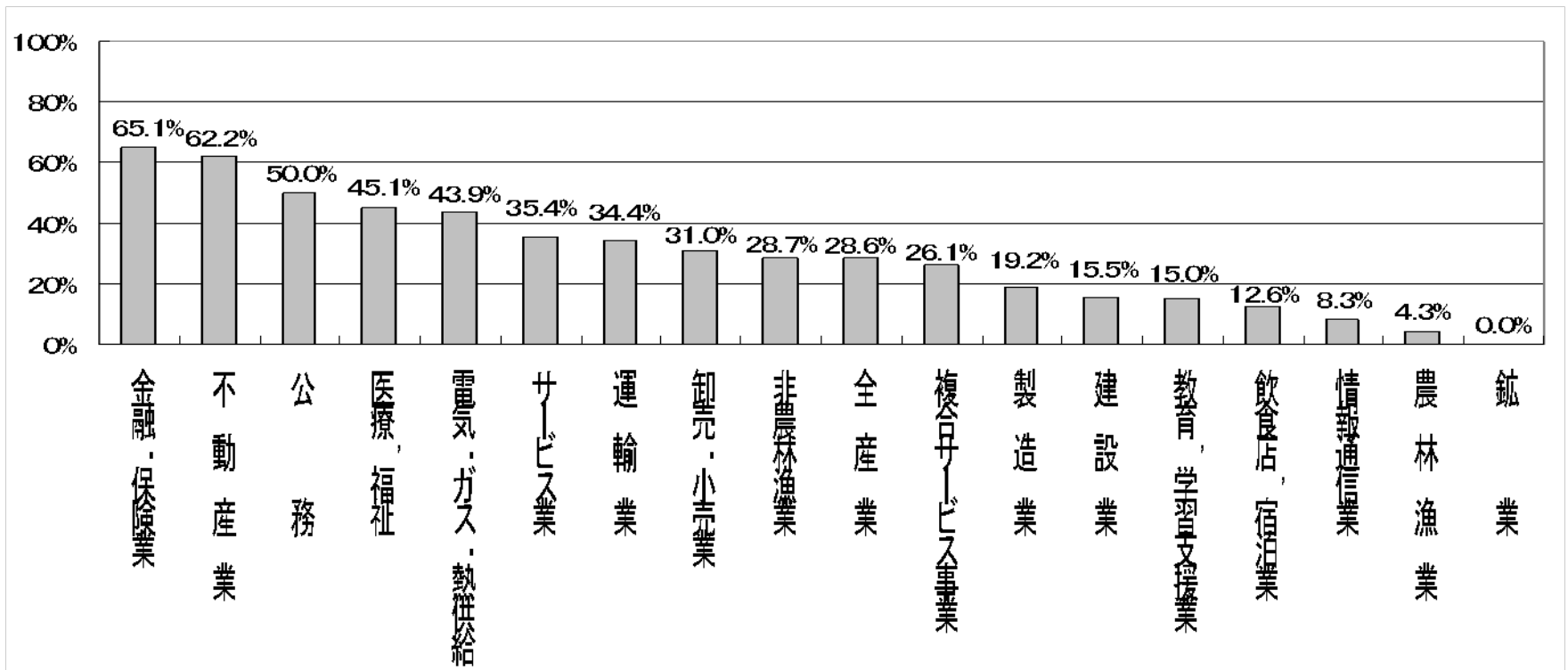


看護学校寮などがあり、若い医療関係者の多い下網場では今後も人口減少、高齢化は進行しないが、すでに高齢化の住んでいる八鹿地区のみでみると、人口減少と高齢化は著しく進行すると考えられる

→若者を八鹿地区に呼び込めないだろうか？

雇用(事業所・就業者)

八鹿中心部の就業者数が養父市就業者数に占める割合(2006年)



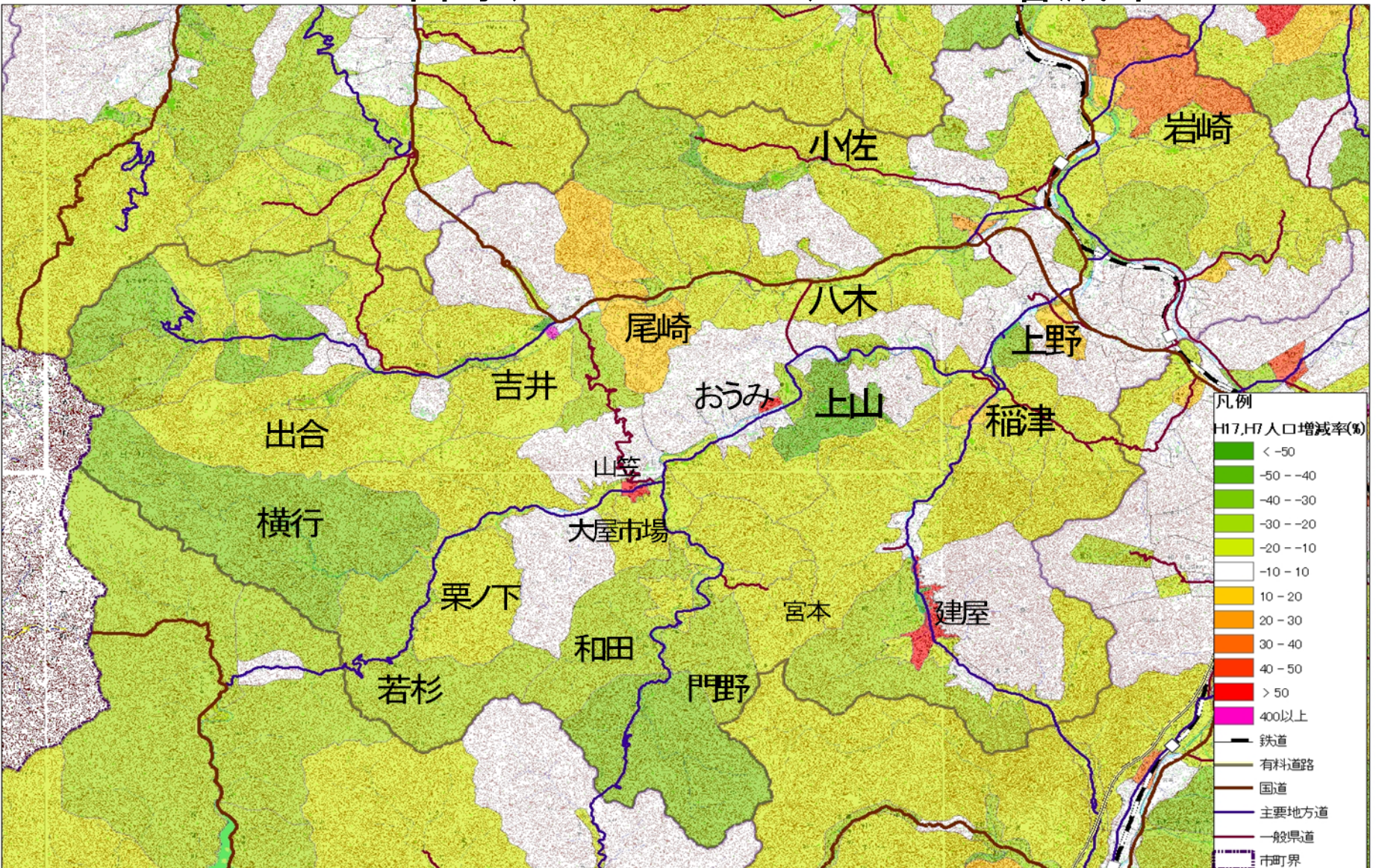
八鹿中心部には養父市の金融保険業、公務で働く人の過半数が集まっている。

商店街の状況

京口商店街	商店数	従業者数 人	年間販売額 百万円	売場面積 m2	販売額 ／売場面積	販売額 ／従業者数
昭和54年	40	175	2,782	2,225	1.25	15.90
昭和57年	43	190	3,071	3,277	0.94	16.16
昭和60年	41	186	3,028	3,338	0.91	16.28
昭和63年	36	181	2,915	3,201	0.91	16.10
平成3年	33	136	2,983	2,399	1.24	21.93
平成6年	34	166	3,499	2,981	1.17	21.08
平成9年	45	217	4,649	3,736	1.24	21.42
平成14年	33	171	3,592	2,628	1.37	21.01
平成16年	34	159	2,753	2,889	0.95	17.31
ショッピングセンター ヘア	商店数	従業者数 人	年間販売額 百万円	売場面積 m2	販売額 ／売場面積	販売額 ／従業者数
平成9年	29	185	4,766	4,366	1.09	25.76
平成14年	20	122	2,325	2,746	0.85	19.06

「中心部」から八鹿町全体に視野を広げると？

10年間(1995－2005)の人口増減率



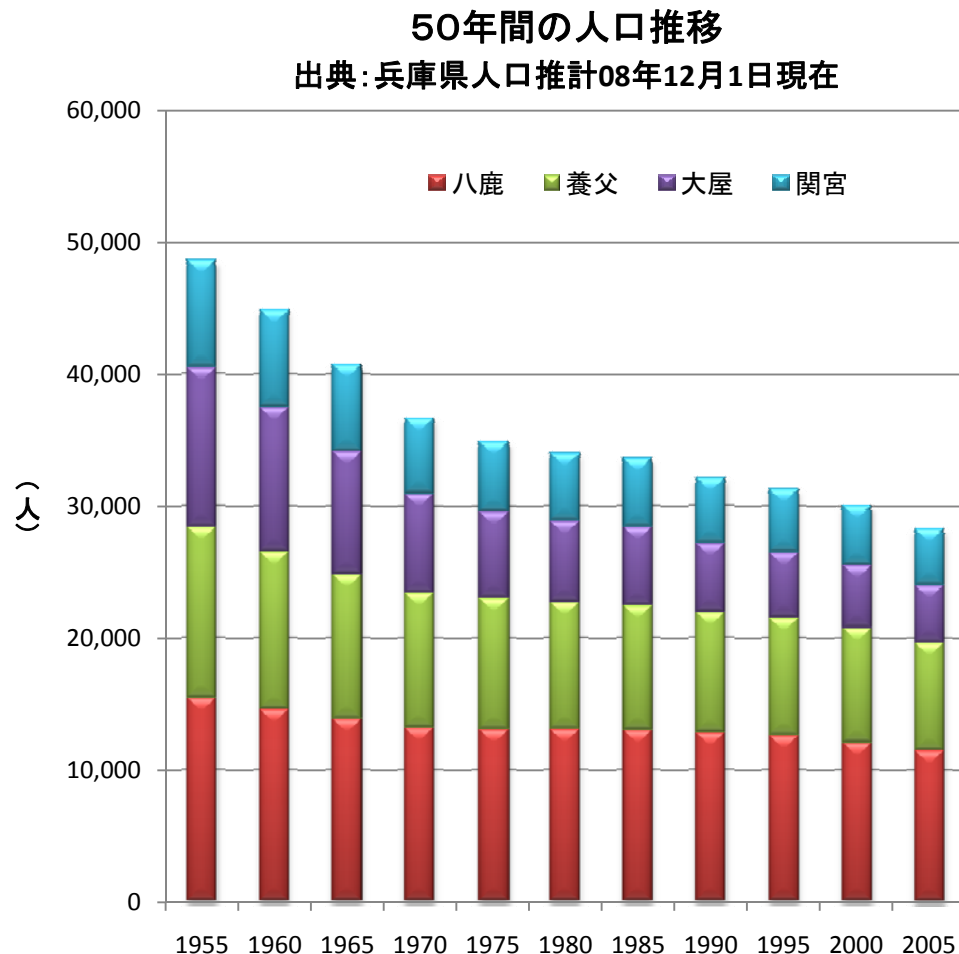
養父市全体の中で「八鹿町」はどんな位置にある？

旧4町単位の分析①人口推移

○養父市を構成する旧・八鹿町、養父町、大屋町、関宮町の総人口は1950年の49,190人をピークに減り続け、2005年国勢調査の時点で28,306人、直近の08年末では28,230人になった

○八鹿町の05年時点人口は11,453人で、ピーク時の7割程度だが、それでも全市の約41%を占めている

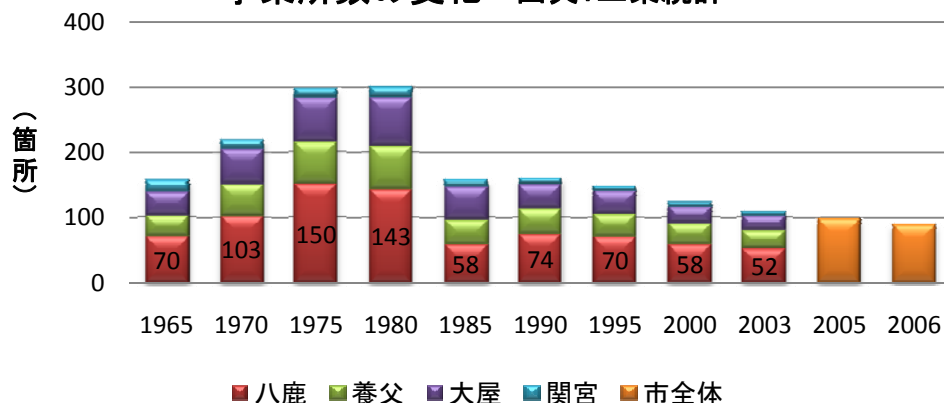
○旧4町の中では、大屋町の人口がピーク時の4割弱にまで減り、関宮町でも半減している



旧4町単位の分析 ②

製造業事業所数・製造品出荷額等の推移 出典：工業統計

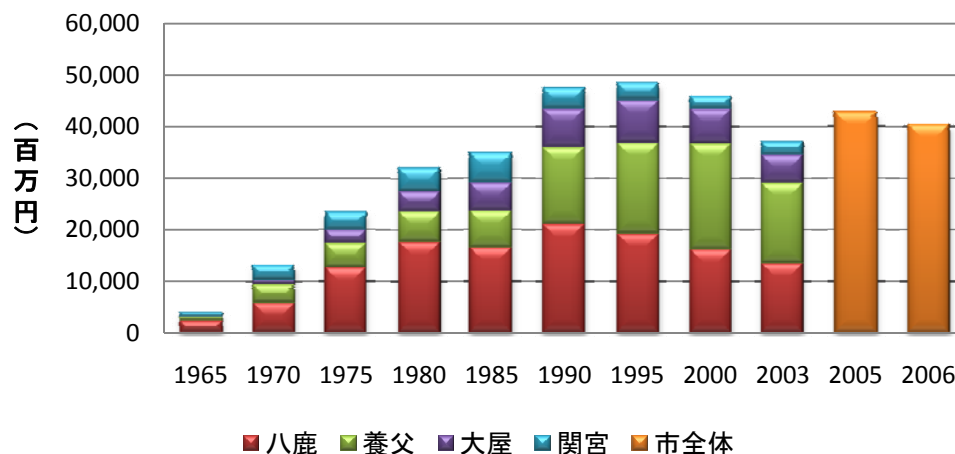
事業所数の変化 出典：工業統計



■工業統計から1965－2003年の事業者数と製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所分）を旧町ごとに抽出（05年以降は参考値、養父市のデータによる）

- 事業所数では、八鹿町は全市の半数近くを占める
- 製造品出荷額等では、八鹿は1980年台まで半数以上を占めていたが、2003年時点で市全体の3分の1強にまで下がった。2000年以降は、養父町と逆転している

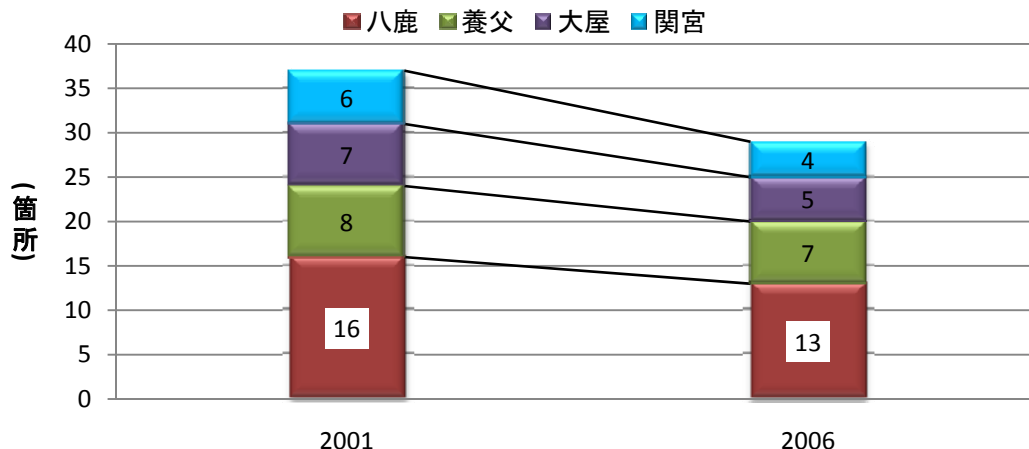
製造品出荷額等の推移 出典：工業統計



旧4町単位の分析 ③公務の推移

出典：事業所・企業統計

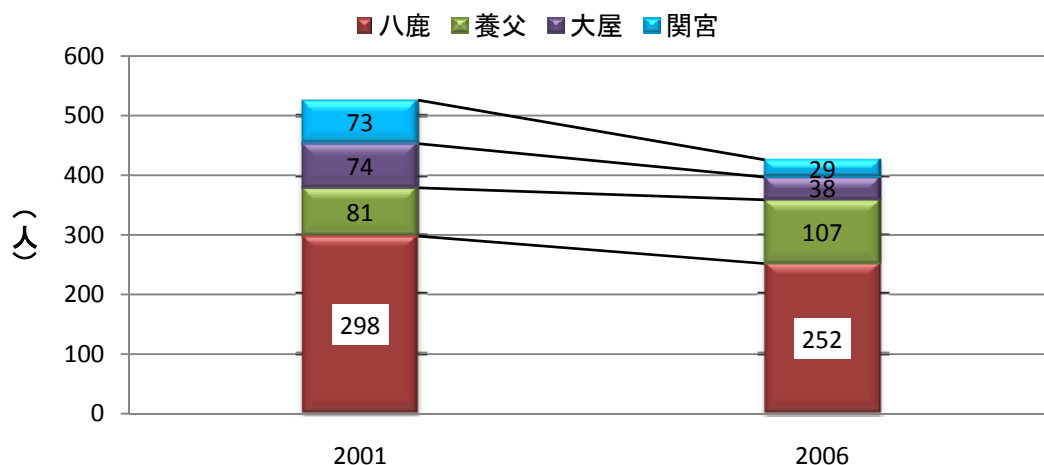
合併前・後の公務の推移 出典：事業所・企業統計



■ 合併(2004年)の前後(01年／06年)の事業所・企業統計で「公務」の事業所数と従業者数を旧町単位で抽出

- 全市で事業所数が8カ所、従業者数は100人減少
- 八鹿町での事業者数も46人減ったが、全市に占める割合は約6割を占める
56.7%(01) → 59.2%(06)
- 大屋町、関宮町の従業者数はこの間に5～6割減ったが、養父町では逆に3割強増えている

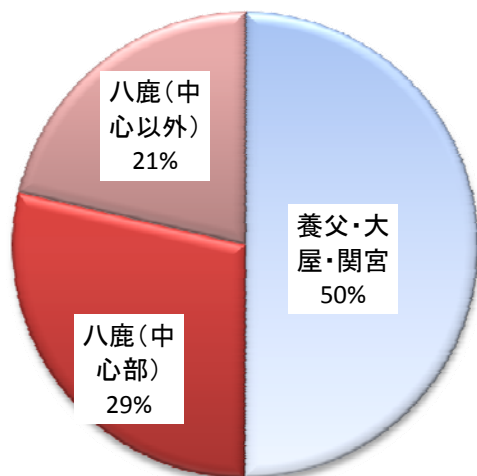
合併前・後の公務の推移 出典：事業所・企業統計



八鹿町には事業所や雇用がどのくらい集まっている？

集中度の検討 ①全事業所数・全従業者数

2006年時点 全産業の従業者数
H18 事業所・企業統計



○2006年時点、養父市内には合計
1,858カ所の事業所があり、12,457
人の従業者が働いている

○市内全事業所の43%(801カ
所)、従業者の50%(6,220人)が、
旧八鹿町内に集まっている

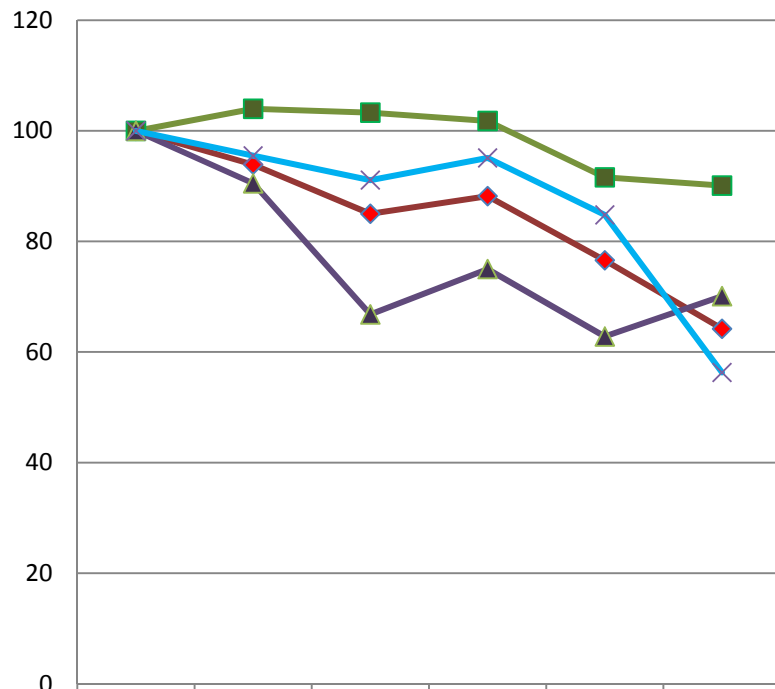
○八鹿中心部には、全市従業者数
の29%(3,557人)が務めている

→産業(大分類)別で、従業者数が特に多い「卸売・小売
業」「製造業」「医療、福祉」について、詳しく見ると・・・

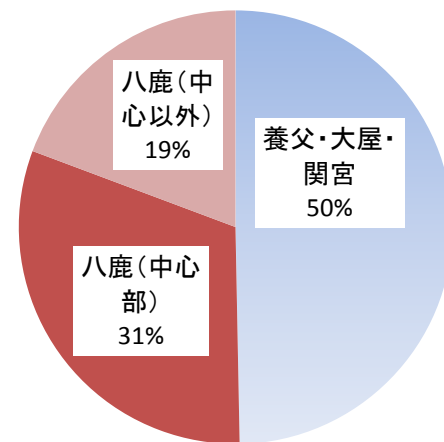
集中度の検討 ② 卸売・小売業

出典：国勢調査、事業所・企業統計

卸売小売業就業者の推移(1980=100)
2003年は国勢調査を基にした推計値



	1980	1985	1990	1995	2000	2003
八鹿町	100	93.9	85	88.2	76.6	64.2
養父町	100	104	103.3	101.8	91.6	90.1
大屋町	100	90.5	66.8	75	62.8	70.1
関宮町	100	95.5	91.1	95.1	84.8	56.3



出典：H18事業所・企業統計

○国勢調査をもとに、1980年を100とした旧町単位の卸売・小売業就業者の推移をみると、**八鹿町**は近年、落ち込みが激しい

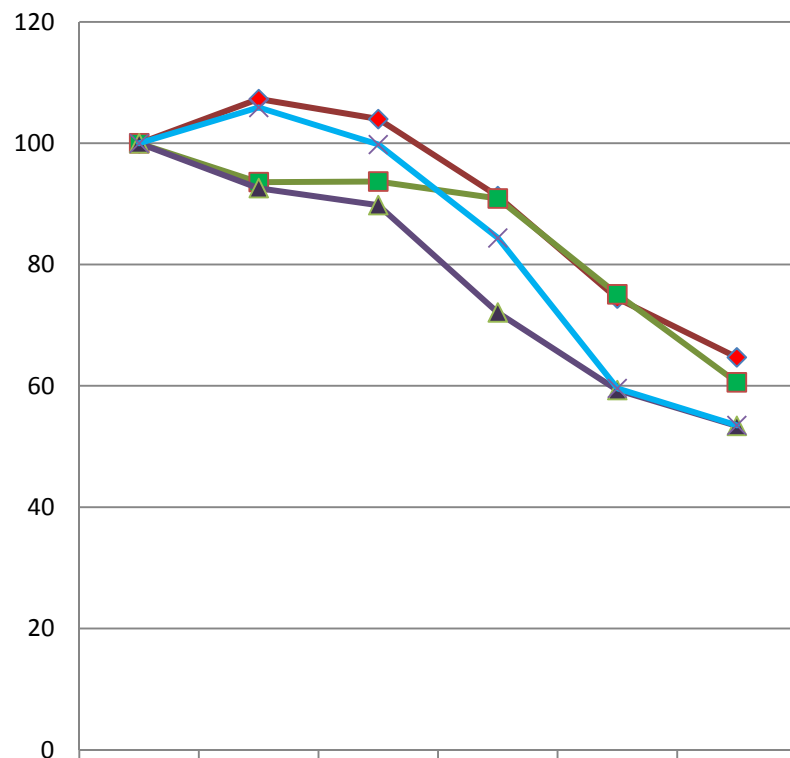
○しかし、事業所・企業統計で「卸売・小売業の実数ベースをみると、2005年時点の従業者2,358人中、八鹿には半数にあたる1,186人が務めている。このうち中心部に、全市の約3割にあたる731人がいる

(円グラフの**赤・ピンク**部分が八鹿町)

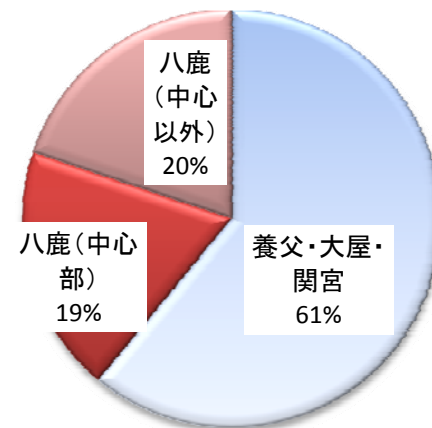
集中度の検討 ③ 製造業

出典：国勢調査、事業所・企業統計

製造業就業者の推移(1980=100)
2003年は国勢調査を基にした推計値



	1980	1985	1990	1995	2000	2003
八鹿町 (中心部)	100	107.3	104	91.3	74.4	64.7
八鹿町 (中心部以外)	100	93.6	93.7	90.9	75.1	60.6
大屋町	100	92.6	89.8	72.1	59.3	53.4
関宮町	100	105.9	99.8	84.4	59.6	53.5



出典：H18事業所・企業統計

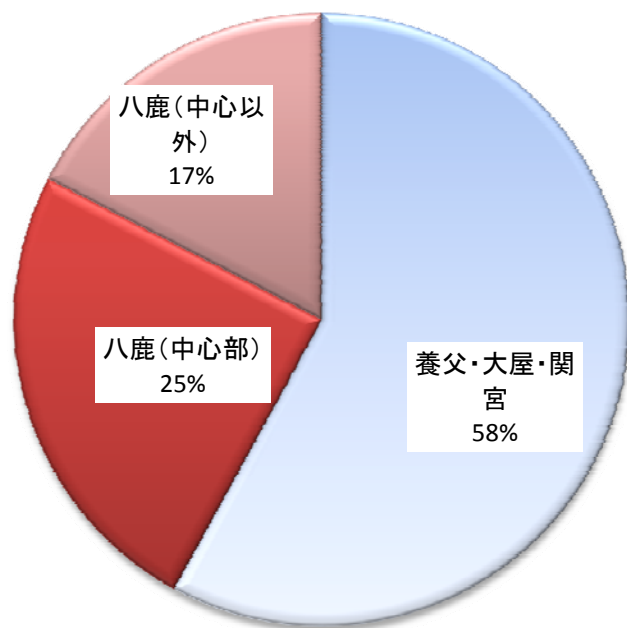
○1980年を100とした旧町単位の製造業就業者の推移をみると、**八鹿町**は2003年時点で64.7に下がっているが、ほかの3町はさらに厳しい

○実数ベースでみると、2005年時点の従業者数2,301人中、八鹿町には約4割にあたる898人が務めている。このうち中心部に、全市の約2割にあたる441人が集中している

集中度の検討 ④ 医療・福祉 出典：事業所・企業統計

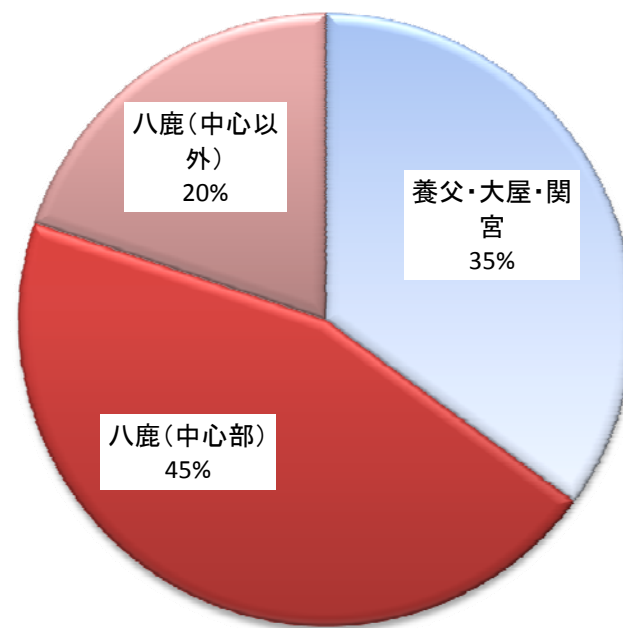
事業所数

全市69カ所中、八鹿町内に29カ所。中心部に17カ所が立地している。



従業者数

全市1,833人中、八鹿町内に1,190人。中心部では826人が働いている



養父市のなかの八鹿町(まとめ)

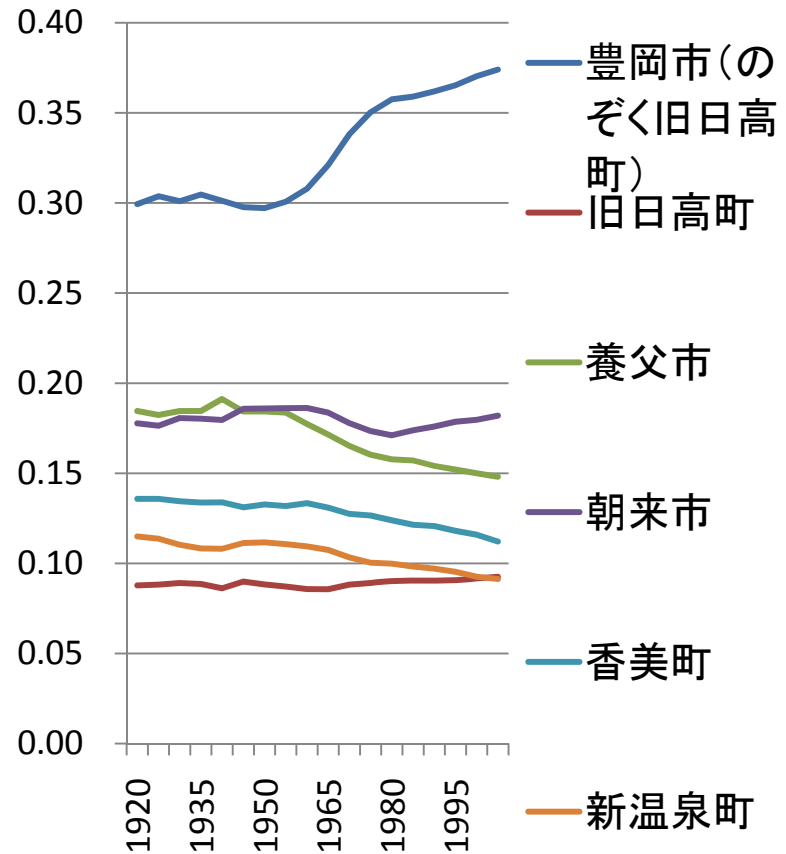
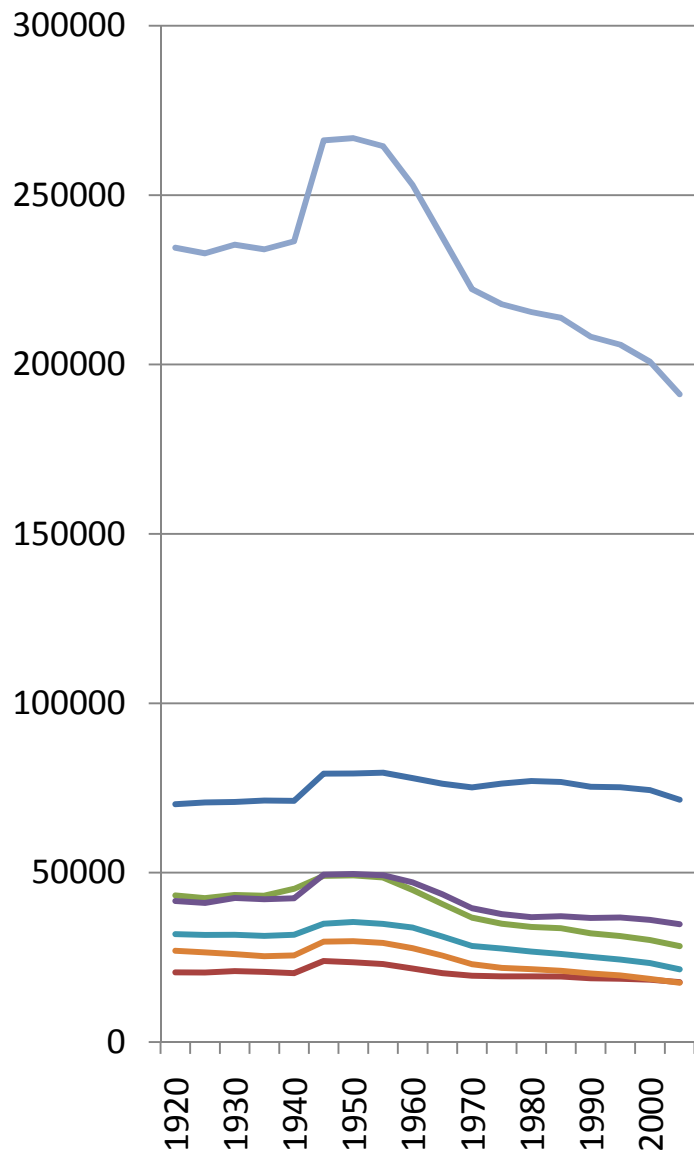
八鹿町の人口は養父市の4割

養父市での就業者のうち、製造業就業者の4割、卸売り小売就業者の5割、公務員の6割、医療福祉従業者の3分の2は八鹿町で働いている。

→養父市のなかでの八鹿町の重要性は、とくに公務、医療・福祉に関してはますます高まっている。商業と製造業は郊外へ分散。

→ただし、次のような懸念もある。

但馬地域の人口推移(1920年～2005年)



左: 人口(絶対数の推移)

上: 但馬地域人口に占める各市町の割合

新豊岡市が但馬人口の約5割

養父市の人口は減少が著しい

資料: 国勢調査

但馬地域の広域分析② 小売販売額マップ
(昭和54年＝1979年) 出典：商業統計

出典：商業統計



出典：商業統計



注1) 但馬全域の小売業販売額を、1228億6345万円として算出しています。
注2) 表記の販売額は、1つのメッシュ内にある小売店の合計です。
特定のお店の販売額ではありません。

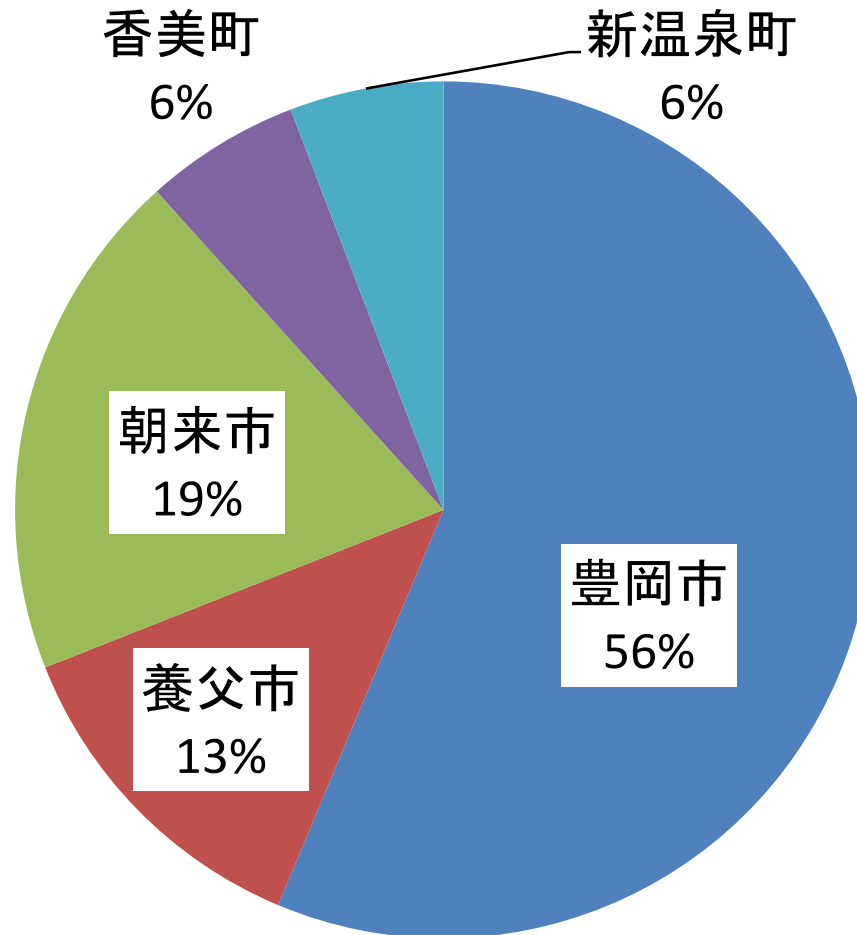
但馬地域の広域分析② 小売販売額マップ

(平成14年＝2002年) 出典:商業統計

小売販売額 平成14年(但馬地域合計に占める割合と販売額)
出典:商業統計

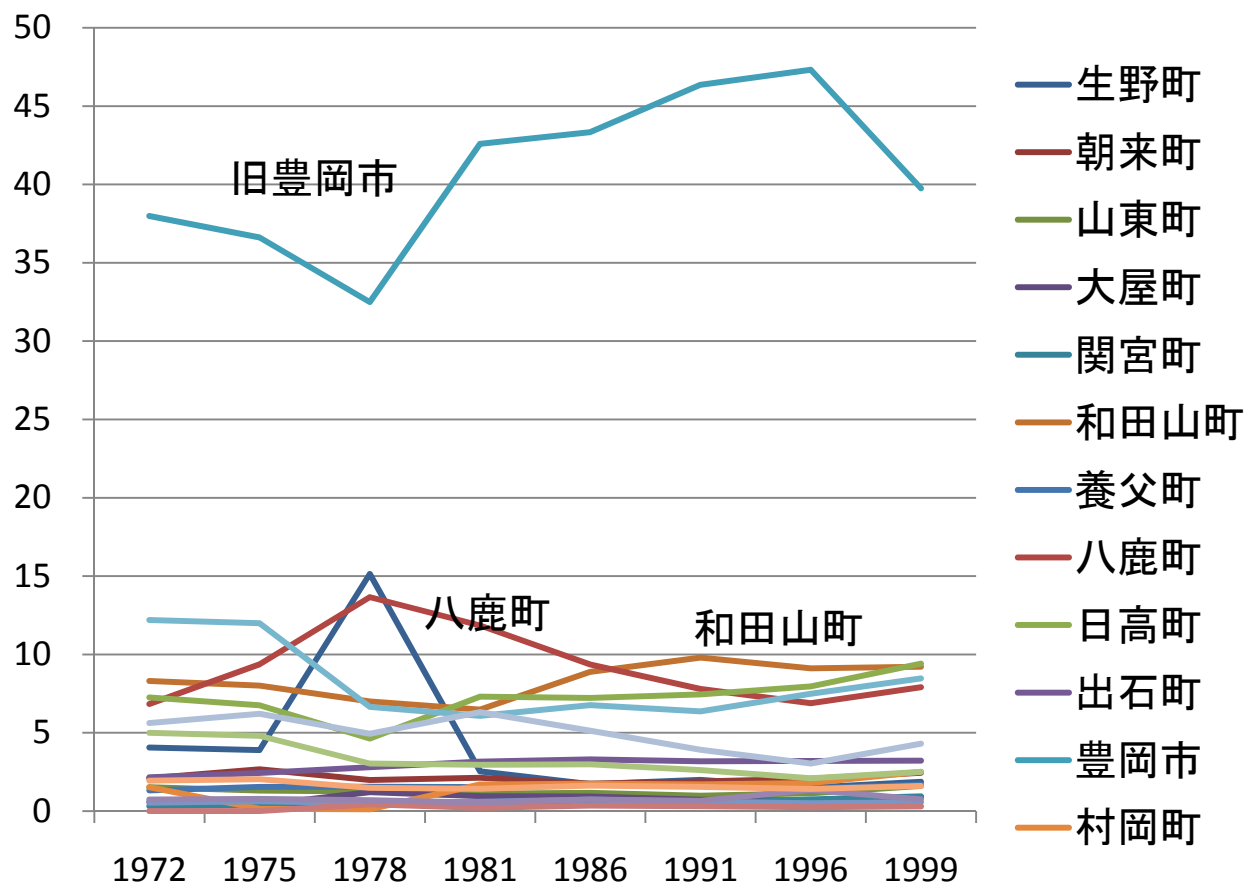


但馬地域の広域的分析③ 商業



但馬の卸売・小売業年間販売額に占める各市町の割合
資料：商業統計

但馬地域の広域的分析④ 金融保険不動産業

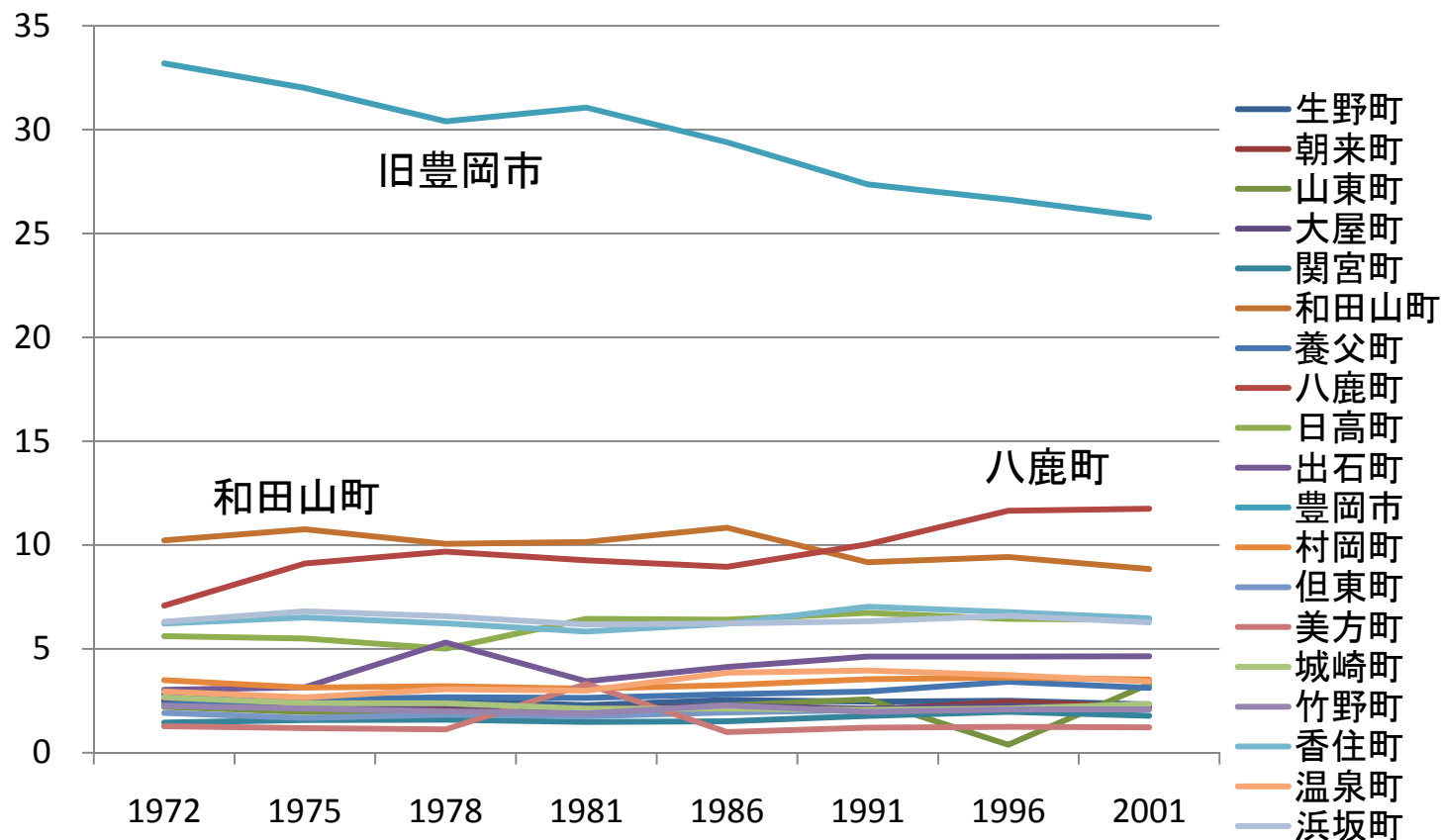


但馬全体に占める各市町の割合(%)

豊岡の割合が高い一貫して低下, 八鹿が上昇
「公共団体」とは公務や他の公的団体の従事者

資料: 事業所・企業統計

但馬地域の広域分析⑤ 「公共団体」従事者



但馬全体に占める各市町の割合(%)

豊岡の割合が一貫して低下, 八鹿が上昇

「公共団体」とは公務や他の公的団体の従事者

資料: 事業所・企業統計

但馬地域のなかの八鹿町・養父市（まとめ）

但馬地域のなかでは新豊岡市は人口の約5割、小売業・卸売業の5割強を占める。小売業・卸売業では地図でみたように郊外化が著しい。

民間サービスである金融保険不動産業でも豊岡市への集中傾向が強い。一方、公共サービスは以上に比べるとより分散的である。また、図にはしていないが病院のベッド数は豊岡市と養父市が但馬全体の3割ずつを占め、養父市の割合が高い。また、教育をみると、但馬地域随一の進学校である八鹿高校が養父市にある。

まちづくりの方向性

- 製造業や小売業が衰退する中、伸びている産業は何か？ →医療・福祉

公立八鹿病院および医療・福祉関連事業所をいかした地域づくりの検討

- 八鹿中心部の状況も厳しいが、八鹿町の中心部以外あるいは旧養父町、大屋町、関宮町はさらに厳しい

→養父市全体の中心部としてどう考える？

→自動車に頼る生活は今後どうなるのか？

まちづくりの第一歩

- 情報共有、共通認識、オープンな議論の場
- 異なるスケールでみた「わがまち」の機能
- 広域の競争力／住民のやすらぎ
- 潜在的な資源（病院、教育機関）の掘り起こしとアプローチ
- 地域資源（歴史や文化施設など）の活かし方